

# 2026 年度秋学期 バディ募集要項

毎年、春学期と秋学期の開始にあわせて、海外の協定校などから、「交換留学生（ISEPTUFS）」と「日本語・日本文化研修留学生（日研生）」が来日し、本学で4ヶ月から1年ほど学びます。

本学では、留学生の学習や生活の支援を行うボランティアを「バディ」と呼び、留学生の来日にあわせて、在学生の中から募集しています。

今秋来日する留学生は約 **200 名** です。

留学した（あるいは留学しようと計画している）大学から本学に来る留学生と交流したい、自分が勉強している言語を話す留学生と交流したい、互いの言語を学習し合いたい（タンデム学習）等々、留学生との交流に興味・関心のある方は、ぜひご応募ください。

## 1. 応募資格

本学学部もしくは大学院に在籍する正規生

※休学中の方や、留学などの事由でキャンパスに通学できない方は応募できません。

## 2. 活動期間

原則として、マッチング決定後からバディ相手の留学生が帰国するまで（4ヶ月～1年程度）

## 3. 活動時間の上限

特になし。ただし、お互いの負担にならない範囲の支援に限ること

## 4. 謝礼

なし

## 5. 応募締切

**2026 年 8 月 17 日（月）**

↓ 応募フォーム ↓

## 6. 応募方法

以下応募フォームにて応募締切までに申請してください

<https://business.form-mailer.jp/fms/60da55ac117551>



## 7. 決定後の流れ

2026 年 9 月中旬頃、マッチングが決定した方にメールにて通知します。マッチング決定後は、外大生から留学生に連絡を取って、活動を開始してください。活動頻度や活動内容は自由です。

## 8. その他

- 応募者多数等の事由により、残念ながらバディとしてマッチングできないこともありますので予め了承のうえ、応募してください。
- 留学生が帰国するなどしてバディ相手がいなくなり、再びマッチングを希望する場合は、次の募集期間に改めて応募してください。
- バディとの関係で何か問題が生じた場合は、留学生課に相談してください。

## 9. 問い合わせ先

留学生課留学生教育係

TEL: 042-330-5184

E-mail: ryugakusei-kyouiku@tufs.ac.jp（メールアドレスはすべて小文字）

※ 携帯電話やメールの着信制限をしている場合、上記の電話番号・ドメイン名(@tufs.ac.jp)が着信できるように設定してください。

## 参考：バディ活動の具体例

| 活動の対象になるもの                                                                                                                                                                     | 活動の対象にならないもの                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①修学上のサポート例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 留学生に日本語を教え、留学生からは彼らの母語を教えてもらう（タンデム学習）</li> <li>● 履修登録の方法や、お勧めの授業について助言する</li> <li>● 昼食を一緒に取りながら、会話の練習をする</li> </ul> | <p>バディ学生に過度な負担が生じる活動</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 留学生への支援は、ボランティアとしてできる範囲にしてください。</li> <li>● 過度な要求や、困ったことがあれば、留学生課に相談してください</li> <li>● バディの交代、解消等も留学生課に相談してください</li> <li>● <b>お金の貸し借りはしないように！</b></li> </ul> |
| <p>②日常のサポート例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 吉祥寺や新宿などの繁華街や名所案内</li> <li>● 買い物の付き添い</li> <li>● 日本での習慣や公共マナー、大学内のルールを教える</li> </ul>                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>オンライン交流もOKですが、留学生課からはお互いのメールアドレスのみ紹介します。SNS 等の連絡先は、了承のうえ交換すること。</p>                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

※留学生の希望を聞きながら、お互いの負担にならない範囲で必要な支援を行うようにしてください。

## 参考：2025 年度秋学期バディ採用日本人学生アンケート

- バディ活動の頻度  
約 6 割の人が 1 ヶ月に 1 回以上バディ活動を実施。
- バディ活動の内容
  - 1 位 買い物など日常生活のサポート
  - 2 位 日本の名所等の案内
  - 3 位 修学上のサポート
- バディ活動のよかったところ（日本人バディから抜粋）
  - ◇ 留学生と知り合うきっかけとなった／外国の友達ができた／留学生の友達が増えた
  - ◇ お互いの文化や言語を学ぶことができた
  - ◇ 専攻言語を使う機会が増えた
- 留学生からの意見（抜粋）
  - ◇ 生活や勉強が困ったときに頼れた／渡日前後に質問ができる相手がいて心強かった
  - ◇ 日本人の友人を作る良い機会となった
  - ◇ 全然活動がなかった